

業務参考資料 No. 74

自営業婦人就業者に関するアンケート結果

昭和 51 年 11 月

労働省婦人少年局婦人課

は し が き

労働省婦人少年局では、昭和51年7月に特定の婦人少年室において自営業婦人就業者問題懇談会を開催したが、事前に自営業者が所属する各種の業者団体等に、自営業婦人対象のアンケートの実施を依頼し、その結果を懇談の内容とした。

このたび、これらの回収されたアンケート票と実施団体別集計表を基にして調査結果をとりまとめたので参考に供する。

昭和51年11月

労働省婦人少年局婦人課

目 次

I 自営業婦人就業者に関するアンケートの概要	3
II アンケートの結果	5
1. 全体の状況	5
2. 小売自営業における主婦の状況	16
附 自営業婦人就業者に関するアンケート票	30

I 自営業婦人就業者に関するアンケート概要

1. 趣 旨

自営業婦人就業者の生活の実態と問題点をは握し、今後の対策に資する。

2. 実施主体

労働省婦人少年局——北海道・宮城・埼玉・神奈川・新潟・長野・愛知・
大阪・広島・熊本の各婦人少年室——自営業者が所属する各種業者団体等

3. 実施時期

昭和51年6月～7月

4. 主な調査項目

- (1) 本人及び家族に関すること
- (2) 家業の状況
- (3) 就業の状況
- (4) 家事及び育児に関する状況
- (5) 健康管理状況
- (6) 自営業婦人の意識等

5. 対 象 者

原則として個人事業を営む業主又は家族従業者である婦人のうち、次の条件を満たす者を対象とし、1団体あたり約20名を目途とする。

- ① 年齢20歳以上50歳未満
- ② 有配偶者

(注) 名目上法人組織であっても実質上家族経営である場合を含む。

なお、事業所規模は製造業の場合就業者20人未満、商業・サービス業等の場合5人未満を限度とした。

6. 実施団体の種類別内訳

総 数 79

○ 指導団体関係 29

商工会議所 9

商 工 会 15

中小企業団体中央会	1
青色申告会	4
○ 商店会関係	11
商店街振興組合	5
商店会・商店街	4
公設市場	1
サービスシール協同組合	1
○ サービス業関係	17
美容（環境衛生同業組合3、その他2）	5
理容環境衛生同業組合	4
クリーニング環境衛生同業組合	6
自動車整備工業協同組合	2
○ その他の業種別	20
菓子（工業組合2、商工業協同組合1）	3
洋服（協同組合2、工業組合1）	3
飲食関係（環境衛生同業組合）	2
豆腐油揚げ商工組合	1
時計貴金属眼鏡商業協同組合	1
燃米・織物（工業協同組合1、商工組合1、工業組合1）	3
鋳物・板金・機械（協同組合2、工業組合1）	3
木型工業協同組合	1
印刷工業組合	1
卸商連盟	1
建築業組合	1
○ その他	2

7. 回収結果

総数	1,483	票
卸売・小売業	695	
サービス業	353	
製造業	334	
その他	101	

Ⅱ アンケートの結果

1. 全体の状況

(1) 回答者の概況

アンケート回答者総数1,483人の業種別分布をみると卸売・小売業が695で最も多く約半分の47%を占め、サービス業が353で24%、製造業が334で23%の順である。その他101(7%)の中には2業種にまたがりどちらか一方であると判別できないものもかなり含まれていると思われる。

経営形態は、個人経営が67%で会社組織をとるものが32%である。又、雇用者の有無別にみると、「雇用者なし」が51%で「雇用者あり」(49%)と約半々であるが、その業種別内訳をみると、サービス業で、「雇用者なし」が72%と高く、卸売・小売業(飲食店を除く)が総数と同じの51%である以外はすべて「雇用者あり」の比率の方が高く、特に金属・機械製造業において79%と高い(第1表)。

回答者の立場は「業種^主」が2割弱で、残りは「家族従業者」である。

第1表 業種・経営形態・雇用者の有無別構成

業 種	回 答 者 計	経 営 形 態			雇 用 者 の 有 無			
		個 人	会 社	不 明	雇用者なし	雇 用 者 あ り		
						計	住込なし 住込あり	不 明
計	1,483	997	477	9	751	722	458	13
	100.0 (100.0)	67.2	32.2	0.6	50.6	48.7	30.9	0.9
卸 売 ・ 小 売 業	695	415	274	6	344	346	253	5
	100.0 (46.9)	59.7	39.4	0.9	49.5	49.8	36.4	0.7
飲 食 店	629	401	223	5	319	305	224	5
	100.0 (42.4)	63.8	35.5	0.8	50.7	48.5	35.6	0.8
サ ー ビ ス 業	66	14	51	1	25	41	29	
	100.0 (4.5)	21.2	77.3	1.5	37.9	62.1	43.9	
製 造 業	353	308	44	1	255	96	3	2
	100.0 (23.8)	87.3	12.5	0.3	72.2	27.2	2.49	0.6
計	334	198	136		117	215	158	2
	100.0 (22.5)	59.3	40.7		35.0	64.4	47.3	0.6
金 属 機 械 製 造 業	268	169	99		104	163	119	1
	100.0 (18.1)	63.1	36.9		38.8	60.8	44.4	0.4
金 属 機 械 製 造 業	66	29	37		13	52	39	1
	100.0 (4.4)	43.9	56.1		19.7	78.8	59.1	1.5
そ の 他	101	76	23	2	35	65	44	1
	100.0 (6.8)	75.2	22.8	2.0	34.7	64.4	43.6	1.0

次に年齢層別構成をみると、45歳～54歳層が最も多く40%を占め、次に35歳～44歳層が34%、34歳以下の層が18%となっている(第2表)。

第2表 回答者の年齢別内訳

年 齢 層	回答者数	%
計	1,483	100.0
34歳以下	268	18.1
35歳～44歳	501	33.8
45歳～54歳	603	40.1
不 明	111	8.0

(2) 就業の状況

「毎日きまった時間働く」者が50%を占め、「毎日働くが時間は不規則」である者が32%、「日によってちがう」者が18%となっており、それぞれにおいて、就業時間が9時間を超える者が4割前後ある(第3表)。

実施団体別集計表により「毎日きまった時間働く」者について通常9時間を超えて働く比率の高いものを挙げると、「飲食組合」(11人中9人82%)が最も高く、「菓子組合」(6人中4人、67%)、「時計・貴金属等組合」(5人中3人、60%)、「豆腐油揚げ組合」(11人中6人55%)等がつづき、「理容組合」や「クリーニング組合」も比率が高い。

但 1～2頁「実施団体の種類別内訳」参照。なお、文中、団体の種類について適宜略称を用いることとする。

第3表 回答者の就業時間

	計	6時間 未満	6時間～ 8時間 未満	8時間	8時間を 超えて 9時間	9時間を超える			
						計	9時間を超えて 10時間	10時間を超えて 12時間	12時間を超える
計	1,333	194	243	234	106	556	244	174	138
毎日きつた 時間働く	(100.0) 100.0	14.6	18.2	17.6	8.0	41.7	18.3	13.1	10.3
毎日働くが 時間は不規則※	66.0	5.2	13.8	15.0	6.4	25.6	12.4	7.3	5.9
	(49.5) 100.0	7.9	20.9	22.7	9.7	38.8	18.8	11.1	8.9
日によってちがう※	43.0	9.3	5.7	5.1	2.3	20.6	8.3	7.2	5.1
	(32.3) 100.0	21.6	13.3	11.9	5.3	47.9	19.3	16.7	11.9
	24.3	4.9	4.8	3.3	1.9	9.4	3.7	2.9	2.8
	(18.2) 100.0	20.2	1.98	13.6	7.8	38.7	15.2	11.9	11.5

出 就業時間の中には休けい時間は含まれない。

※は最も多い時の就業時間をとっている。
なお総数が不足するのは無記入があったからである。

従事する仕事内容（時間の多少にかかわらず従事する仕事全部）をみると、「販売」・「サービス」・「生産工程従事等」を合わせて77%であるのは当然として、それ以外では「事務」が43%と比率が高く、「経営管理」（26%）、「雑用」（25%）「従業員の世話」（14%）の順になっている（第4表）。

実施団体別の集計表によると、「青色申告会」及び「自動車整備組合」で、最も多く時間を費す仕事内容として「事務」を挙げた者が4割あり、「経営管理」も、「青色申告会」1.5割、「自動車整備組合」1割と、他団体に比較して割合が高い。

第4表 回答者の従事する仕事内容

仕事内容	計	基幹的業務				経営管理	事務	従業員の世話	雑用
		計	販売	技術従事 生産工程 ・単業	サービス 職業				
計	1,483	1,139	662	165	312	392	638	202	371
	100.0	76.8	44.6	11.1	21.0	26.4	43.0	13.6	25.0
最も時間をかけて する仕事	1,483 ※ 100.0	79.6	42.5	13.0	24.1	12.0	30.0	3.7	11.3
	100.0	53.7	28.7	8.8	16.3	8.1	20.2	2.5	7.6
上記以外の仕事	1,483	343	237	35	71	272	338	165	258
（多 答）	100.0	23.1	16.0	2.4	4.8	18.3	22.8	11.1	17.4

※ 無記入があったので、仕事内容別内訳の合計と合致しない。

回答者総数のうち、家族従業者は1,130人であるが、その報酬の有無については、「無報酬又はもらっていても小遣い程度である」（以下「無報酬」とする）は22%で、「賃金は定期的に一定額をもらうがほとんど家計に入れている」は41%で、合わせると63%となり、ほとんど報酬をもらっている。

ない者の率がかかなり高いといえる（第5表）。

第5表 家族従業者の場合の報酬の有無等

計	無報酬	一定の賃金あり				
		計	ほとんど家計へ入れる	食費程度を家計へ入れる	全部自分のものとする	その他不明
1,130	252	878	458	200	163	57
100.0	22.3	77.7	40.5	17.7	14.4	5.1

実施団体別集計表によると、「無報酬」の率が高いのは「時計・貴金属等組合」の4割強、「クリーニング組合」・「洋服組合」・「理容組合」が約3.5割、「飲食組合」3割等である。又、「無報酬」と「ほとんど家計へ入れる」を合わせて、率が高いのは、「燃糸・織物組合」（7.5割）、「自動車整備組合」・「洋服組合」・「クリーニング組合」（各約7割）、「時計貴金属等組合」（6.5割）である。

(3) 家事・育児の状況

回答者のうち、約8割が家事を担当している。又、乳幼児のある者は291人（20％）で、そのうち、乳幼児の世話を「本人がみている」率は31％で、保育所に預けている率と同じである（第6表）。

第6表 乳幼児を保育する者

（多 答）

乳幼児のある者計	本人がみている	同居の家族がみている	保育所	その他
291	89	110	91	25
100.0	30.6	37.8	31.3	8.6

小学生のある者は、480人（32％）で、そのうち、学童保育所の利用者は0.8％で極めて少い（第7表）。

第7表 小学生をみる者（多答）

小学生のある者計	学童保育所	家で誰かがみている	誰もみていない	その他
480	4	241	186	63
100.0	0.8	50.2	38.8	13.1

(4) 健康管理状況

健康状態については、8割弱が健康と答えているが、「定期健康診断を受けている」者は55％に過ぎない。「健診を受けていない」者は24％で（残りは不明）、その理由で最も多いのは「日常診察を受けている」（62％）で、次に「健康に自信」と「忙しくてひまがない」が同数で各38％である。「一せいで健診をやっていない」は16％である（第8表）。

他方、健診を受けている者に対しては、その実施機関を尋ねたところ、「公的一せいで健診」が42％で最も多く、次に「自分で医院等へ行く」（26％）、「業者団体等」（14％）の順である（第9表）。

第8表 定期健康診断を受けていない理由（多答）

健診を受けていない者計	健康に自信	忙しくてひまがない	日常診察を受けている	健康診断に不満	病気がみつかるので不安	一せいで健康診断をやっている
(23.9%) 354	135	135	220	6	11	57
100.0	38.1	38.1	62.2	1.7	3.1	16.1

第9表 定期健診の実施主体

健診を受けている者計	業団体等	親企業系列企業	公的 一せいで健診	自分で医院等へ行く	その他
(62.2%) 811	112	7	338	211	143
100.0	13.8	0.9	41.7	26.0	17.6

実施団体別集計表によると、「定期健診を受けていない」者の割合が高いのは、「飲食組合」（6割弱）、「時計・貴金属等組合」（5.5割）、「商店会」・「豆腐油揚げ組合」・「商工会」・「洋服組合」（各約5割）、「商工会議所」・「青色申告会」・「菓子組合」（各4割）、「クリーニング組合」（3割）である。受診状況のきわめてよいのは「理容組合」・「美容組合」である。

なお、健康保険の加入状況は8割強であり、年金保険の加入が7割弱であるのと比較すれば加入率はよいといえるが、未加入者が2割弱あるということである。

実施団体別集計表によると、健康保険加入の割合が比較的低いのは「青色申告会」（加入率7割強）である。又、年金保険加入の割合が低いのは「時計・貴金属等組合」（同5.5割）、「商店会」（同6割）、「青色申告会」（同6.5割）である。

註 ここでは、本人自身が被保険者として加入している場合のみをさす。

最後に、ひどく疲れた時や気分の悪い時ゆっくり休めるか否かについては、「休める」と「休みにくい」が約半々で、「休みにくい」と答えた者の6割がその理由として「家業が忙しい」からであるとしている（第10表）。

第10表 ひどく疲れた時や気分の悪い時

ゆっくり休みにくい理由（多答）

休みにくい者計	家業が忙しい	家事・育児の手代りがない	仕事場が近く落ち着かない	家族等に気兼ね	その他
(46.8%) 694	421	154	222	131	25
100.0	60.6	22.2	31.9	18.9	3.6

実施団体別集計表によると、「ゆっくり休みにくい」者の割合が高いのは「クリーニング組合」（7割強）である。

(5) 自営業婦人の意識

イ 時間の余裕があればやりたいこと

最も多いのは「趣味・教養・娯楽」（65%）で、次に「休養・睡眠」（31%）である。以下、「運動・スポーツ・健康に関すること」（16%）、「仕事に関する勉強」（14%）、「家事・育児」（12%）の順である（第11表）。

第11表 時間の余裕があればやりたいこと（多答）

回答者計	趣味・教養・娯楽	運動・健康と関係するスポーツ	仕事に関する勉強	家事・育児	休養・睡眠	婦人団体・その他社会活動	その他
1483	961	240	214	179	462	108	37
100.0	64.8	16.2	14.4	12.1	31.2	7.3	2.5

実施団体別集計表によると、「趣味・教養・娯楽」が最高である場合がほとんどであるが、「飲食組合」では最高が「休養・睡眠」であり、「燃糸・織物組合」では最高が「家事・育児」である。「趣味・教養・娯楽」の割合が高いのは「菓子組合」(7割)で、「休養・睡眠」の率が高いのは「飲食組合」(7割)、「洋服組合」(5割)、「豆腐油揚げ組合」(4.5割)である。「運動やスポーツ、健康に関すること」が比較的高いのは「菓子組合」、「商工会」(各2割強)であり、「仕事に関する勉強」は「美容組合」(5割強)、「家事・育児」は「燃糸・織物組合」(5.5割)である。

ロ 自営業婦人として困っていること

「仕事から解放される時間が少ない」(16%)「店と家のけじめがない」(14%)という悩みが最も多い(第12表)。

第12表 自営業婦人として困っていること(多答)

回答者計	経済的に自分の自由になるお金が少ない	仕事がつきつむずかしい	休日がない	仕事から解放される時間が少ない	店と家のけじめがない	働いて報酬などで評価されていない	老後の生活が経済的に心配	従業員の使い方がむずかしい	女(嫁)の地位が低いのでやりにくい	悩みがあつても相談に行くところがない
1483	146	39	47	243	212	44	134	125	46	64
100.0	9.8	2.6	3.2	16.4	14.3	3.0	9.0	8.4	3.1	4.3

実施団体別集計表によると、「仕事から解放される時間が少ない」の割合が高いのは、「燃糸・織物組合」の7割強で次に「クリーニング組合」(6割強)、「飲食組合」(5割強)「豆腐油揚げ組合」(5割)、「商店会」・「時計貴金属等組合」・「青色申告会」・「商工会議所」(各4.5割)、「洋服組合」・「菓子組合」・「商工会」(各4割)の順となっている。「店と家のけじめがない」の割合が高いのは、「クリーニング組合」の6.5割で、次に「飲食組合」・「菓子組合」(各4.5割)、「洋服組合」・「商工会議所」(各4割)の順となっている。

「従業員の使い方がむずかしい」の割合が高いのは、「自動車整備組合」(4.5割)、「美容組合」(4割)、「菓子組合」(3.5割)である。

なお、悩みが1又は2に集中している団体と、多くの悩みに分散している団体がある。分散している例としては「美容組合」を挙げ得る。

ヘ 希望する講座・講習会の内容

次の五分類により希望を尋ねたところ、最も多いのは「経理事務など仕事に役立つもの」(36%)で、次に、「衣・食・住等の生活の技術」・「健康管理に関するもの」(各33%)「人を雇い使う場合の心構えややり方など」(27%)、「社会の諸問題に関する常識」(23%)の順となっている(第13表)。

第13表 希望する講座・講習会の内容(多答)

回答者計	社会の諸問題に関する常識	衣・食・住等の生活の技術	健康管理に関するもの	人を雇い使う場合の心構えややり方など	経理事務など仕事に役立つもの	その他
1483	347	484	484	397	534	37
100.0	23.4	32.6	32.6	26.8	36.0	2.5

実施団体別集計表によると、「人を雇い使う場合の心構えややり方など」を希望する割合が高いのは、「自動車整備組合」(6.5割)、「美容組合」・「菓子組合」(各5割)であり、「理容組合」・「豆腐油揚げ組合」(各3.5割)「飲食組合」(3割)とつづいている。

「経理事務等仕事に役立つもの」を希望する割合が高いのは「美容組合」(5割)、「青色申告会」(4割)、「商工会議所」(3.5割)、「自動車整備組合」・「クリーニング組合」・「飲食組合」(各3割)である。

「健康管理に関するもの」を希望する割合が高いのは、「商工会」・「豆腐油揚げ組合」・「菓子組合」(各4割)で、次に、「飲食組合」・「理容組

合」・「商工会議所」(各3.5割)、「自動車整備組合」・「クリーニング組合」(各3割)の順となっている。

「衣・食・住等の生活の技術」を希望する割合が高いのは、「燃米・織物組合」(6.5割)、「時計・貴金属等組合」・「洋服組合」(各3.5割)「商工会議所」(3割)、「クリーニング組合」(2.5割)の順となっている。

ニ 希望する施設等

施設等の希望で目立って多いのは「働く婦人の家・勤労婦人センター・婦人会館等、いこい・教養・相談・軽スポーツ等の施設」であった。

実施団体別集計表によると「燃米・織物組合」・「自動車整備組合」(各5割)、「商工会議所」(4.5割)、「商工会」・「理容組合」(各3割)、「青色申告会」・「美容組合」・「クリーニング組合」(各2.5割)である。

又、「ホームヘルパー」の希望が多いのは「飲食組合」(2.5割)、「菓子組合」(2割)である。

ホ 国際婦人年

最後に、自営業に就業する婦人が、婦人の地位向上にどの位関心があるかを知るため、国際婦人年に関する質問をした。7割弱の者が国際婦人年を知っており、全体の3割強がそれが自分にも関係があると思ったと答えている。

2. 小売自営業における主婦の状況

ここでは回収されたアンケート票の中から自営業婦人問題が最も典型的にあらわれていると思われる業種である卸売・小売業をとり出し、その中から卸売業と飲食店を除き、さらに業主でなく、家族従業者の立場にある者だけに限って、集計を行うことにより、より信頼し得る資料を得ようとした。

(1) 回答者の概況

該当者は499人で、その経営形態は個人経営64%、会社組織36%であり、雇用者の有無別にみると、「雇用者なし」が52%、「雇用者あり」48%、「住込あり」は全体の11%である。

年齢層別構成をみると、45歳～54歳層が47%を占め、35歳～44歳層が34%、34歳以下の層が18%である。

就業状況別の構成をみると、「毎日きまった時間働く」者が49%、「毎日働くが時間は不規則」である者35%、両者合わせると83%となる。残り17%は「日によって異なる」者等である(第14表)。

第14表 年齢層及び就業状況別構成(小売業)

	計	毎日きまった時間働く	毎日働くが時間は不規則	日によって異なる等
計	499 (100.0) 100.0	242 48.5	172 34.5	85 17.0
34歳以下	92 (18.4) 100.0	45 48.9	34 37.0	13 14.1
35歳～44歳	171 (34.3) 100.0	84 49.1	51 29.8	36 21.1
45歳～54歳	236 (47.3) 100.0	113 47.9	87 36.9	36 15.3

乳幼児のある者は100人(20%)で、小学生のある者は147人(30%)である。

家族構成では、核家族が52%、複合家族が44%であり、年齢層が低いほど複合家族の割合が高くなっている(第15表)。

第15表 年齢層及び核家族・複合家族別構成（小売業）

	計	核 家 族	複合家族	不 明
計	499 100.0	258 51.7	221 44.3	20 4.0
34歳以下	92 100.0	33 35.9	58 63.0	1 1.1
35歳～44歳	171 100.0	80 46.8	84 49.1	7 4.1
45歳～54歳	236 100.0	145 61.4	79 33.5	12 5.1

(2) 就業の状況

イ 就業時間及び休日

「毎日きまった時間働く」者（242人）のうち、通常の実業時間が9時間を超える者が4.5割強あり、中でも12時間を超える者が1.5割弱あるのが注目される（第16表）。

第16表「毎日きまった時間働く」者の通常の実業時間（小売業）

	計	8時間未満	8時間～ 9時間	9時間を超え 12時間	12時間を超え る	不 明
計	242 100.0	36 14.8	88 36.4	76 31.4	36 14.9	6 2.4
34歳以下	45 100.0	9 20.0	14 31.1	18 40.0	2 4.4	2 4.4
35歳～44歳	84 100.0	10 11.9	35 41.7	26 31.0	12 14.3	1 1.2
45歳～54歳	113 100.0	17 15.0	39 34.5	32 28.3	22 19.5	3 2.7

注 就業時間の中には休けい時間は含まれていない。

毎日働く者（時間が不規則の者を含む）の休日について、「定めがある」者57%、「不規則」な者42%である（第17表）。

第17表 毎日働く者の休日（小売業）

	計	定めが ある	不規則	不 明
計	414 100.0	235 56.8	174 42.0	5 1.2
34歳以下	79 100.0	53 67.0	25 31.6	1 1.3
35歳～44歳	135 100.0	76 56.3	58 43.0	1 0.7
45歳～54歳	200 100.0	106 53.0	91 45.5	3 1.5

年齢層が高いほど、就業時間が12時間を超える者、休日が不規則である者の割合が高い。

ロ 仕事内容

最も多く時間を費す仕事を1つだけ挙げた場合、やはり販売が最も多く（68%）、次に事務（12%）である（第18表）。

第18表 最も時間を費す仕事の内容（小売業）

	計	経営管理	事 務	販 売	雑 用	従業員の 世話	その他	不 明
計	499 100.0	31 6.2	60 12.1	338 67.7	25 5.0	1 0.2	6 1.2	38 7.6
34歳以下	92 100.0	2 2.2	13 14.1	64 69.6	7 7.6	0	0	6 6.5
35～ 44歳	171 100.0	8 4.7	27 15.8	106 62.0	6 3.5	0	3 1.8	21 14.0
45～ 54歳	236 100.0	21 8.9	20 8.5	168 71.2	12 5.0	1 0.4	3 1.3	11 4.7

時間の多少にかかわらず従事する仕事内容のすべてを挙げた場合「販売」(88%)が最も多く、次に「事務」(39%)「雑用」(32%)、「経営管理」(21%)とつづいている。とくに「経営管理」は35歳以上の年齢層において、「事務」は44歳以下の年齢層において、その割合が比較的高い(第19表)。

第19表 従事するすべての仕事内容(多答)(小売業)

	計	経営管理	事務	販売	雑用	従業員の世話	その他
計	499 100.0	105 21.0	192 38.5	437 87.6	160 32.1	36 7.2	25 5.0
34歳以下	92 100.0	12 13.0	37 40.2	79 85.9	34 37.0	8 8.7	2 2.2
35～44歳	171 100.0	40 23.4	80 46.8	147 86.0	49 28.7	14 8.2	4 2.3
45～54歳	236 100.0	53 22.5	75 31.8	211 89.4	77 32.6	14 5.9	19 8.1

報酬

「無報酬又はもらっていても小遣い程度」の者は16%で、「賃金は定期的に一定額をもらうがほとんど家計へ入れる」者(35%)を合わせると5割である(第20表)。

第20表 報酬の有無等(小売業)

	計	無報酬	一定の賃金あり					不明
			計	ほとんど家計へ入れる	食費程度を家計へ入れる	全部自分のものとする	その他不明	
計	499 100.0	79 15.8	359 71.9	175 35.0	107 21.4	66 13.3	11 2.2	61 12.3
34歳以下	92 100.0	21 22.8	63 68.5	31 33.7	13 14.1	19 20.7	0	8 8.7
35～44歳	171 100.0	27 15.8	121 70.8	59 34.5	34 19.9	21 12.3	7 4.1	23 13.5
45～54歳	236 100.0	31 13.1	175 74.2	85 36.0	60 25.3	26 11.0	4 16.8	30 12.7

(3) 家事・育児状況

回答者のうち家事を担当している者は81%である(第21表)。

第21表 家事担当の有無(小売業)

	計	あり	なし	不明
計	499 100.0	403 80.8	79 15.8	17 3.4
34歳以下	92 100.0	75 81.5	15 16.3	2 2.2
35～44歳	171 100.0	139 81.3	27 15.8	5 2.9
45～54歳	236 100.0	189 80.1	37 15.7	10 4.2

乳幼児の保育については、該当者100人のうち、同居の家族がみているという者が最も多く4割弱で、次に保育所(3割強)、本人(3割弱)となっている。

又、小学生のある者147人中、学童保育所を利用しているものは極めて少い(1.4%)。

(4) 健康管理状況

健康状態については8割弱が健康と答えているが、定期健康診断を受けていない者が46%あり、健診を受けていない理由については、「日常診察を受けている」(39%)が最も多く、「忙しくてひまがない」(26%)、「健康に自信」(25%)となっている(第22表)。

又、健診の実施は「公的一せい健診」が最も多く(54%)、「自分で医院等へ行く」(27%)、「業者団体等」による実施(11%)の順になっている(第23表)

第22表 定期健診受診の有無及び健診を受けていない理由(多答)(小売業)

	計	受けて いる者	受けていない者						不 明	
			計	健康に 自信	忙しくて ひまがない	日常診察 を受けて いる	健康診断 に不満	病気がみ つかれる 不安		一せいで 診をして いない
計	499 100.0	261 52.3	231 46.3 (100.0)	57 (24.7)	61 (26.4)	89 (38.5)	1 (0.4)	15 (6.5)	18 (7.8)	7 1.4 (2.6)
34歳以下	92 100.0	47 51.0	45 49.0 (100.0)	20 (21.7)	15 (33.3)	4 (8.9)	0	5 (11.1)	3 (6.7)	0 (6.7)
35歳～44歳	171 100.0	77 45.0	90 52.6 (100.0)	21 (23.3)	25 (27.8)	33 (36.7)	1 (1.1)	5 (5.6)	9 (10.0)	4 2.4 (2.2)
45歳～54歳	236 100.0	137 58.1	96 40.7 (100.0)	16 (16.7)	21 (21.9)	52 (54.2)	0	5 (5.2)	6 (6.3)	3 1.2 (1.0)

第23表 定期健診の実施主体 (小売業)

健診を受けている者計	業 者 団 体 等	親 企 業 系 列 企 業	公 的 一 せ い 健 診	自分て医院等へ行く	そ の 他	不 明
264	28	2	143	72	7	12
100.0	10.6	0.8	54.2	27.3	2.6	4.5

健康保険には88%が加入しており、年金保険加入の割合68%と比べると加入の割合は高い。

ひどく疲れた時や気分の悪い時ゆっくり休みにくい者は48%あり、35歳～44歳層では54%と若干その割合が高い。「休みにくい」理由は「家業が忙しい」が最も多く58%あり、次に「仕事場が近く落ち着かない」(30%)とつづき、「家事・育児の手代りがない」「家族等に気がね」が同数でそれぞれ20%である。

35歳～44歳層において休みにくい割合が比較的高く、又35歳以上の層において休みにくい理由に「家業が忙しい」を挙げる者の割合が高い(第24表)。

第24表 ひどく疲れた時や気分の悪い時の状況 (小売業)

	計	休 め る	計	休　　み　　に　　く　　い					不　　明
				休　　み　　に　　く　　い　　理　　由　　(　　多　　答　　)					
				家　業　が 忙　が　しい	家事育 児の手代 りがない	仕事場 が近く 落ち着 かない	家族等 に気が ね	その他 不　　明	
計	499 100.0	232 46.5	240 48.1 (100.0)	139 (57.9)	49 (20.4)	73 (30.4)	49 (20.4)	7 (2.9)	27 5.4
34歳 以下	92 100.0	45 48.9	45 48.9 (100.0)	19 (42.2)	15 (33.3)	16 (35.6)	9 (20.0)	2 (4.4)	2 2.2
35～ 44歳	171 100.0	69 40.4	93 54.4 (100.0)	54 (58.1)	21 (22.6)	29 (31.2)	23 (33.3)	3 (3.2)	9 5.3
45～ 54歳	236 100.0	118 50.0	102 43.2 (100.0)	66 (64.7)	13 (12.7)	28 (27.5)	17 (16.7)	2 (2.0)	16 6.8

(5) その他

イ 時間の余裕があればやりたいこと

時間の余裕があればやりたいことは、「趣味・教養・娯楽」が70%で圧倒的に多く、次に「休養・睡眠」が31%、「運動・スポーツ・健康に関すること」が20%の順である。34歳以下の層で「家事・育児」(19%)、「仕事に関する勉強」(16%)の割合が高い(第25表)。

第25表 時間の余裕があればやりたいこと(多答)(小売業)

	回答者計	趣味・教養・娯楽	運動・スポーツ・健康に関すること	仕事に関する勉強	家事・育児	休養・睡眠	社会活動・その他	その他	記入したくない
計	499	347	99	53	61	153	32	14	29
	100.0	69.5	19.8	10.6	12.2	30.7	6.4	2.8	5.8
34歳以下	92	57	27	15	17	25	3	4	2
	100.0	62.0	29.3	16.3	18.5	27.2	3.3	4.3	2.2
35～44歳	171	118	42	19	18	49	14	3	11
	100.0	69.0	24.6	11.1	10.5	28.7	8.2	1.8	6.4
45～54歳	236	172	30	19	26	79	15	7	16
	100.0	72.9	12.7	8.1	11.0	33.5	6.4	3.0	6.8

ロ 自営業婦人として困っていること

自営業に働く婦人として困っていることは、「仕事から解放される時間が少ない」(46%)が最も多く、次に「店と家のけじめがない」(39%)、「休日がない、少ない」(18%)、「経済的に自分の自由になるお金が少い」(15%)、「老後の生活が経済的に心配」(14%)「従業員の使い方がむずかしい」(13%)の順である(第26表)。

第26表 自営業婦人就業者として困っていること（多答）（小売業）

回答者	計	経済的に 自分の自 由になる お金が少 ない	仕事が多 い、む ずかしい	休日 がない、 少ない	仕事から 解放され る時間が 少ない	店と家の 間が遠い ない	働いて報酬 などで、 評価され ていない	老後の 生活が 経済的 に心配	従業員の 使い方が むづかしい	女職の地 位が低い のでやり にくい	悩みがあ っても相 談に行く ところがない	その他 不明
計	499 100.0	74 14.8	21 4.2	90 18.0	229 45.9	192 38.5	27 5.4	72 14.4	66 13.2	14 2.8	12 2.4	97 19.4
34歳以下	92 100.0	16 17.4	4 4.3	20 21.7	40 43.5	40 43.5	5 5.4	9 9.8	10 10.9	5 5.4	2 2.2	17 18.5
35～44歳	171 100.0	21 12.3	6 3.5	24 14.0	85 49.7	66 38.6	9 5.3	19 11.1	25 14.6	6 3.5	5 2.9	34 19.9
45～54歳	236 100.0	37 15.7	11 4.7	46 19.5	104 44.1	86 36.4	13 5.5	44 18.6	31 13.1	3 1.3	5 2.1	46 19.5

希望する講座・講習会の内容

希望する講座・講習会の内容は、「健康管理に関するもの」（36%）と、「衣食住等の生活技術」（34%）が多い。次に「社会の諸問題に関する常識」（26%）と「経理事務等仕事に関するもの」（26%）である（第27表）。

第27表 希望する講座・講習会の内容（多答）（小売業）

	回答者 計	社会の諸 問題に関 する常識	衣・食・ 住等の生 活の技術	健康管理 に関する もの	人を雇い 使う場合 の心構え ややりか たなど	経理事務 など仕事 に役立つ もの	その他	不明 （無記入）
計	499 100.0	131 26.3	167 33.5	180 36.1	91 18.2	128 25.7	20 4.0	95 19.0
34歳以下	92 100.0	15 16.3	34 37.0	20 21.7	16 17.4	24 26.1	4 4.4	19 20.6
35～44歳	171 100.0	50 29.2	51 29.8	59 34.5	36 21.1	55 32.2	10 5.9	27 15.8
45～54歳	236 100.0	66 28.0	82 34.7	101 42.8	39 16.5	49 20.8	6 2.5	49 20.8

なお、無記入が2割弱あるのは、講座・講習会を希望していない数字とも解される。

希望する施設等

希望する施設については31%が働く婦人の家等総合的福祉施設を希望している。（第28表）

第28表 希望する施設等（多答）（小売業）

計	施設を希望するもの計	希望する施設の種類の別									無記入	
		保育所	一時託児施設	給食センター	働く婦人の家等	消費生活センター	ホームヘルパー	図書館 公民館	内職相談センター	その他		
計	499	309	26	19	36	156	27	56	49	19	25	190
	100.0	61.9	5.2	3.8	7.2	31.3	5.4	11.2	9.8	3.8	5.0	38.1
34歳以下	92	62	9	10	3	27	5	11	11	5	4	30
	100.0	67.4	9.8	10.9	3.3	29.3	5.4	12.0	12.0	5.4	4.3	32.6
35~44歳	171	118	5	6	19	61	9	19	18	5	14	53
	100.0	69.0	2.9	3.5	11.1	35.7	5.3	11.1	10.5	2.9	8.2	31.0
45~54歳	236	129	12	3	14	68	13	26	20	9	7	107
	100.0	54.7	5.1	1.3	5.9	28.8	5.5	11.0	8.5	3.8	3.0	45.3

ホ 国際婦人年

国際婦人年については、知っていた者が7割近いが、それを「自分に関係があると思った」者は全体の38%である。「国際婦人年を知らなかった」者(22%)と「知っていても自分に関係がないと思った」者(23%)と合わせた45%がこのような問題について関心が薄いといえる(第29表)。

第29表 国際婦人年について（小売業）

	計	知らなかった	知っていた				無記入
			計	自分にも関係あると思った	自分には関係ないと思った	不明	
計	499 100.0	111 22.2	349 69.9	191 38.3	113 22.6	45 9.0	39 7.9
34歳以下	92 100.0	19 20.7	68 73.9	24 26.1	38 41.3	6 6.5	5 5.4
35～44歳	171 100.0	36 21.1	123 71.9	73 42.7	35 20.4	15 8.8	12 7.0
45～54歳	236 100.0	56 23.7	158 67.0	94 39.8	40 17.0	24 10.2	22 9.3

自営業婦人就業者に関するアンケート

昭和51年6月

労働省 婦人少年局

労働省婦人少年局では、広く働く婦人に関する福祉や地位向上のための施策を行っておりますが、このたび、自営業に働く婦人の方々の生活の実情や希望を知るために、アンケートを行うことになりました。ごめんどうですが、よろしく御協力下さい。

なお、このアンケートの結果は、統計的に処理され、個人の回答内容が公表されたり、記入していただいた方に御迷惑のかかることは絶対にありませんから、ありのまま御回答下さるよう、お願いします。(無記名です。)

記入方法

イロハ …… (1) (2) (3) …… a b c …… のどれか1つに○印をつけ、 があれば簡単に内容を書いて下さい。

(Ⅰ あなたの家の店(事業)について)

1. 業種は次のどれにあたりますか。

- イ 卸売・小売業(飲食店を除く)、ロ 飲食店、ハ サービス業、ニ 製造業(金属機械製造業を除く)、ホ 金属機械製造業、ヘ その他

2. 個人経営ですか、それとも会社組織になっていますか。

- イ 個人経営 ロ 会社組織
(イ) 合名・合資会社
(ロ) 有限会社
(ハ) 株式会社

3. お宅の経営のやり方は次のどれにあたりますか。

- イ 家族だけでやっている。
ロ 家族の外に労働者を雇っている。その場合住込の雇用者がいますか。
(1) いる (2) いない

4. 営業(操業)を休む日はどのようにしていますか。

- イ 無休 ロ 毎週1回休み
ハ その他

5. 通常の営業(操業)時間は、何時から何時までですか。

- イ 時 分 ~ 時 分まで 時間
ロ とくにきまっていない(だいたい 時間)

(Ⅱ あなたのことについて)

6. 年齢は次のどれにあたりますか。

- イ 34歳以下 ロ 35~44歳
ハ 45~54歳

7. あなたの家の店(事業)でのあなたの立場は次のどれですか。

- イ 業主 ロ 家族従業者
ハ その他(役員・社員等)

8. あなたの家の店(事業)であなたは主としてどんな仕事をしていますか。次の中から、あてはまるもの全部に○印をつけそのうち、費す時間の最も多いものに◎をつけて下さい。

- イ 経営管理、ロ 事務、ハ 販売、ニ 技能工・生産工程従事及び単純作業、ホ サービス職業従事(給仕人、料理人、理容師、洗たく職など)、ヘ 従業員の世話、ト 雑用(お茶くみ、掃除等)、チ その他

9. 家業に従事して報酬をもらっていますか。(家族従業者のみ記入して下さい。)

- イ 無報酬又は、もらっていても小遣い程度である。
ロ 賃金は定期的に一定額をもらう。あなたはその賃金をどのように使っていますか。
(1) ほとんど家計に入れている。
(2) 食費程度を家計に入れ、あとは自分のものとして自由に使える。
(3) 全部自分のものとして自由に使える。

10. あなたの休日はきまっていますか。

- イ 休日の定めがある。 ロ 不規則だ。

11. あなたの通常の労働時間は、何時間ぐらいですか。

(休けい時間は除いて下さい。)

- イ 毎日きまった時間働く。 時間
ロ 毎日働くが時間は不規則。
ハ 日によってちがう。
忙しい時、ひまな時に分けて記入して下さい。

忙しい時 時間

ひまな時 時間

(Ⅲ あなたの家の家族について)

12. あなたの家の家族構成は次のどれにあたり
ますか。

(同居の家族について記入して下さい。)

- イ 夫婦のみ又は夫婦と未婚の子供
ロ 夫婦と未婚の子供(子供がない場合を含む)とその他の家族

13. あなたの家で、主として家事を担当する人は誰ですか。

- イ あなた自身 ロ 同居の家族
ハ その他

<子供のある人だけ記入して下さい>

14. あなたの家に同居している子供は次のどれにあてはまりますか。 に人数を書き入れて下さい。

- イ 6歳未満(小学校就学まで) 人
ロ 小学生 人
ハ 中学生以上 人

<小学校にあがるまでの乳幼児のある人だけ記入して下さい>

15. あなたが店(事業所)で働いている間は乳幼児の世話は主に誰がみていますか。

- イ あなた自身がみている。
ロ 同居の家族がみている。
ハ 保育所に預けている。
ニ その他

<小学生の子供がある人だけ記入して下さい>

16. 学校から帰った小学生は、あなたが店(事業所)で働いている間誰がみえていますか。

- イ 学童保育所に預けている。
ロ 家で誰かがみている。
ハ 誰もみていない。
ニ その他

17. あなたの旁には、世話を必要とする老人や、病人がいますか。

- イ いる
ロ いない

(Ⅳ あなたの健康について)

18. あなたの健康状態は、いかがですか。

- イ 健康である。
ロ あまり健康でない。
ハ 持病があり不健康である。

19. 定期健康診断を受けていますか。

イ 受けている。

- その回数は ☐ (イ) 年1回
☐ (ロ) 年2回以上
- 実施している主体 ☐ (イ) 業者団体等
☐ (ロ) 親企業・系列企業
☐ (ハ) 公的機関の行う一斉健康診断
☐ (ニ) 自分で医院等へいく
☐ (ホ) その他

ロ 受けていない。

- その理由 ☐ (イ) 健康に自信がある。
☐ (ロ) 忙しくてひまがない。
☐ (ハ) 日常かかりつけの医者にみてもらう。
☐ (ニ) 健康診断ではあまりよくみてもらえない。
☐ (ホ) 病気がみつかるので不安
☐ (ヘ) 一斉健康診断をやっていない

<過去5年間に出産の経験をした人だけ記入して下さい>

20. 一番近い出産の際、その前後は家業を休みましたか。産前産後それぞれ何日位仕事を休みましたか。

- 産前 ☐ イ 休んだ 日
☐ ロ 休まなかった
☐ ハ 当時家業に従事していなかった
- 産後 ☐ イ 休んだ 日
☐ ロ 休まなかった
☐ ハ 当時家業に従事していなかった

21. ひどく疲れた時や気分の悪い時にゆっくり休めますか。

- イ 休める
ロ 休みにくい
- 休みにくい理由は何ですか。あてはまるもの全部に○印をつけて下さい。
- ☐ (イ) 家業が忙しい。
☐ (ロ) 家事・育児をかわってする者がいない。
☐ (ハ) 仕事場と居間が接していて落ち着かない。
☐ (ニ) 従業員や家族に気がねする。
☐ (ホ) その他

(Ⅴ その他)

22. あなたは今よりもっと時間の余裕があれば何を1番やりたいと思いますか。主なもの2つまで○印をして下さい。

- イ 趣味・教養・娯楽、ロ 運動やスポーツ・健康に関すること、ハ 仕事に関する勉強、ニ 家事・育児、ホ 休養・睡眠、ヘ 婦人団体・PTAその他の社会活動、ト その他

23. 次の保険等にあなた自身が被保険者として加入していますか。加入しているもの全てに○印をして下さい。

- イ 健康保険(健康、国民健康、日雇労働者健康保険)
ロ 雇用保険(旧失業保険)
ハ 労災保険
ニ 年金保険(国民年金・厚生年金)
ホ 中小企業退職金共済制度
ヘ 小規模企業共済制度

24. あなたが自営業に働く婦人として、困っていることは何ですか。あてはまるもの全てに○印をして下さい。

- イ 経済的に自分の自由になるお金が少ない。
- ロ 仕事がきつい、むづかしい。
- ハ 休日が無いか、あっても少ない。
- ニ 仕事から解放される時間が少ない。
- ホ 店(事業)と家のけじめがない。
- ヘ 働きについて報酬などで評価されていない。
- ト 老後の生活が経済的に心配である。
- チ 従業員の使い方がむずかしい。
- リ 女(嫁)の地位が低いのでやりにくい。
- ヌ 悩みがあっても相談に行くところがない。
- ル その他

25. 次のような気軽に利用出来る施設等があればよいと思いますか。希望するもの全てに○印をつけて下さい。又既に利用しているものは◎をつけて下さい。

- イ 保育所
- ロ 一時託児施設(乳幼児を臨時に1日又は半日程度預ける所)
- ハ 給食センター
- ニ 働く婦人の家、勤労婦人センター・婦人会館等(いこい・教養・相談・軽スポーツ等の施設)
- ホ 消費生活センター
- ヘ ホームヘルパー(地域や、業界で雇用しているホームヘルパーを各家に必要な応じて派遣する制度)
- ト 図書館、公民館
- チ 内職相談センター
- リ その他

26. 次のような内容の講座・講習会のうち、あなたが希望するものがありますか。希望するもの全てに○印をつけて下さい。

- イ 社会の諸問題に関する常識
- ロ 衣・食・住等の生活の技術
- ハ 健康管理に関するもの
- ニ 人を雇い、使う場合の心構えややり方など
- ホ 経理事務などで仕事に役立つもの
- ヘ その他

27. 昨年は「国際婦人年」でしたが、あなたはそのことを知っていましたか。

- イ 知っていた。
 - (イ) 自分にも関係のあることだと思った。
 - (ロ) 自分には関係のないことだと思った。
- ロ 知らなかった。

28. 最後に国や公共団体、業界に希望することや意見を書いて下さい。

御協力いただきどうもありがとうございました。